

指導と評価の年間計画（陶芸基礎）

岐阜県立土岐紅陵高等学校

科目	陶芸基礎	学年	2年	指導クラス	2年選択者	指導者名	
単位数	2	使用教科書	基礎からわかるはじめての陶芸「自分だけのやさきものを作ろう」学研			副教材・問題集等	

1. 科目の目標

陶芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の陶芸や陶芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを旨とする。

2. 評価の観点の趣旨

知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて製作方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、陶芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって陶芸や陶芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に陶芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり陶芸を愛好する心構えを育むとともに、感性を高め、陶芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

3. 指導及び評価計画

月	単元	指導項目	予定時間	主な学習活動（指導内容）と到達目標	評価の場面・方法	評価の観点		
						a	b	c
4	陶芸について	・陶芸について基本的を学習する。 ・全国の焼き物の知識を深める。	2	アンケート実施 生徒の陶芸に対する意識を把握する。 【(3)表現材料】・鉛筆トーンスケール作成	・ワークシート ・行動観察	○	○	○
5	土練り	・土練り	10	・土練りの必要性を理解し、荒練りと菊練りの練習を行う。	・技能 ・行動観察 ・技能テスト	○	○	○
6	手びねり成形	・手びねりによる作品制作	10	・手びねりの工程を理解し均一な厚みの作品を作陶できる。 ・高台削りや装飾を施し、個性のある作品を制作できる。	・作品 ・行動観察 ・鑑賞	○	○	○
7	ひもづくり成形	・ひもづくりによる作品制作	10	・ひもづくりの工程を理解し均一な厚みの作品を作陶できる。 ・高台削りや装飾を施し、個性のある作品を制作できる。	・作品 ・行動観察 ・鑑賞	○	○	○
9	施釉	・施釉本焼成	2	・素焼きされた作品の素地を整え、釉薬で施釉をする。 ・均一に施釉を行うことができる。	・作品 ・行動観察	○	○	○
10	ロクロ成形	・電動ロクロによる作品制作	24	・土殺しや芯出しが出来るようになる。 ・基本の筒形から様々な形に作陶する。	・作品 ・行動観察 ・鑑賞	○	○	○
11	タタラ成形	・タタラ板による作品制作	10	・粘土を板状に伸ばしたものをういて、作陶できる。 ・象嵌や貼り付けなどの装飾技法を学ぶ。	・作品 ・行動観察	○	○	○
12	年間反省	・年間反省 清掃	2	・年間の作品を整理し、どのように変化したかをまとめる。 ・作品制作を通し、自分の表現に適した描画材料の選択を学ぶ。	・作品 ・行動観察 ・鑑賞	○	○	○
			70					